

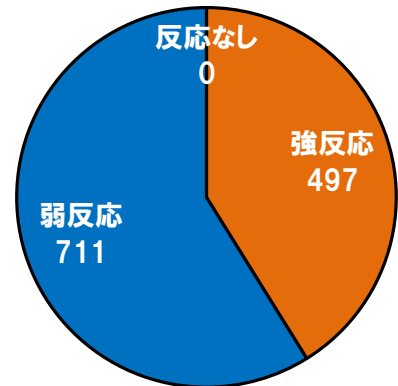
# 結露チェッカーによる床下調査結果報告

|                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 【調査実施期間】       | 2015年4月～2015年8月(調査継続中)         |
| 【実施の専属取扱業者拠点数】 | 全国129拠点(北海道、中国エリアを除く)          |
| 【調査実施棟数】       | 876棟(876パック、結露チェッカー計4,380個を使用) |
| 【有効回答数】        | 451棟(有効回答率51.48%、2015年8月31日現在) |

## ① 土間の床下における土壌水蒸気の発生状況ならびにその割合

※結露チェッカー設置棟数・・・347棟(有効回答数の76.9%)  
 ※結露チェッカー使用数・・・1,208個(1棟あたり平均3.48個)

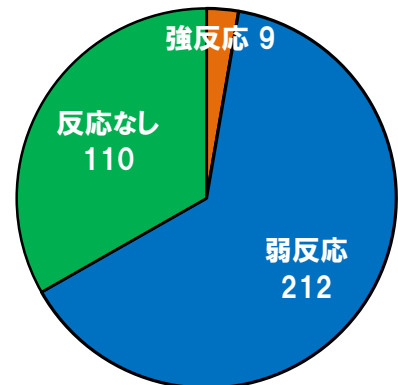
|      |      |        |
|------|------|--------|
| 強反応  | 497個 | 41.14% |
| 弱反応  | 711個 | 58.85% |
| 反応なし | 0個   | 0%     |



## ② ベタ基礎の床下におけるコンクリートからの水蒸気の発生状況ならびにその割合

※結露チェッカー設置棟数・・・104棟(有効回答数の23.05%)  
 ※結露チェッカー使用数・・・331個(1棟あたり平均3.18個)

|      |      |        |
|------|------|--------|
| 強反応  | 9個   | 2.71%  |
| 弱反応  | 212個 | 64.04% |
| 反応なし | 110個 | 33.23% |



### 【調査実施の担当者様によるご意見】

- ・「湿気が無いように見えても、湿気(水蒸気)があることが分った」
- ・「コンクリートの床下であっても、湿気があるということを説明しやすかった」
- ・「築4年、床組に少々腐朽菌の発生が確認されたが、結露チェッカーの反応が無かった」
- ・「湿気の被害があるところでは反応したが、そうでない床下では反応しなかった」
- ・「明確な色反応を見てお客様も納得され、換気システムのご成約を頂けた」
- ・「4棟で調査を実施したが、4棟とも弱反応だった」

### 【途中経過総括】

今回の調査は白蟻他の害虫や結露、カビ、木部腐朽等の点検時に並行して実施されたため、対象住宅は築年数1年以上の既築住宅であり(多くは築20年以上)、食害、湿害の懸念があつて床下点検をご依頼されたお客様が大半でした。そのため、比較的新しい住宅やベタ基礎の床下の調査数が少なく、あくまで「湿害が気になる住宅」での結果であり、住宅全体の場合と同じ傾向であるとは言い切れないものの、日本建築学会の論文にある「住宅の床下からは1mあたり10g/時の土壌水蒸気が発生している」、という学説に準じた結果となりました。今後もさらなる実状把握を目指し、調査を続行して参りますので、集計をお待ち下さい。